

11月29日(日)に、第8回中国百科検定が実施されます。岡山県は、岡山国際交流センター5階の会議室(3)で、行われます。

受験料、試験時間など詳細は、同封のパンフをご参照ください。なお、申込期間は、すでに始まっています。同封の振り込み取扱票に記入の上申し込んでください。

岡山支部は、受験者を最低でも10人以上確保したいと思っています。

標記の会が、9月18日(金)午後1時半から、民主会館にある岡山支部事務局で行われました。

出席者は岡山支部から河井理事長、真田支部長、小林事務局長、竹内理事、倉敷支部から宇野理事長、大本副理事長、犬飼理事の7人でした。

前回の話し合いの確認として、小林事務局長を岡山県支部連合会の理事長にという件は、継続審理として扱うことになりました。

規約についても、会計処理をどうするかについて 記合

また、大会表彰については、各支部から報告を行うことになりました。

あまり進展はみられませんでしたが、次回の打ち合わせを10月30日(金)14時から倉敷公民館で行うことを確認して終わりました。

真田

日中友好協会創立70周年記念シンポジウム開催

日中友好協会70周年記念シンポジウム ポスト・コロナの新しい日中関係をめざして(オンライン配信)

日時:9月26日(土) 14時
ハネリスト

新藤榮一氏(竹馬大学名誉教授・

国際アジア共同体学会会長)

朱建榮氏(東洋学園大学教授)

山本恒人氏(大阪経済大学名誉教授)

youtu.be/WWTKZKzHt1k

訪問介護事業所を立ち上げよう

去年から帰国高齢者の皆さんのために介護施設を設立しようと、準備をしていました。

日中友好協会岡山支部の皆さんが応援してくださいましたが、施設として利用できる物件がなかなか見つかりません。それに新型コロナウイルス感染状況がまだ続きそうなので、現実に基づいて、訪問介護事業所から始めたらどうかと考えました。

その考えを持って行政機関に行つて尋ねました。申請の流れ及び申請書類の記入ポイントを教えてくださいました。訪問介護事業をやりたいことを小林先生に報告しました。先生は医療、介護経験を持つ



左側が氏平さん 岡村さん 右側が井堀さん夫妻

ていて、いままで医療、介護に関心がある氏平県議を紹介してくださいました。氏平先生に訪問介護事業をやりたい原因と困ることを説明しました。

氏平先生の案内で、小林先生と私たち夫婦は、在宅福祉総合センター倉田を訪問し、岡村さん（岡山医療生活協同組合介護事業部事務長）から説明を受けました。

岡村さんは、私たちの質問に対して、詳しく熱心に答えてくださいました。訪問介護事業を立ち上げるうえで、たくさんアドバイスをしてください、大変助かりました。先生方と岡村さんに感謝します。

見学後、小林先生の自宅で、ヘルパーステーションの名前について、先生と奥さんが一緒に考えてくださいました。せつかくなので私たちの名前を一字でも入れた方がいいと思うと、厚い辞書も開いて考えてくれました。

他事業所は、花の名前で、命名するのも多いので、花ことばの意味も色々調べた、すでに使われたのが多いので、なかなか決まりませんでした。そしたら、先生が、自分たちの名前で命名するのは



どうですか」と提案がありました。そして奥さんは、漢字じゃなくて、ひらがなが流行っているので、それで【ルパーステーションいほり】の名前を決めました。先生と奥さん、どうもありがとうございます。

日中友好協会岡山支部は長年にわたり、日中友好と帰国者のごとを支援しています。戦後75年になりました、いま高齢帰国者の介護問題に力を入れていきます。私たちをずっと応援してください。

日中友好をねがうたくさんの方々のおかげで、8月末に、申請書を市の行政機関に提出しました。審査が通れば10月に【ルパーステーション いほり】が誕生します。皆さんと一緒に大事に育てていきたいと思っています。皆さんの応援とご指導をどうぞよろしくお願いたします。

井堀 紅露
井堀 風才

留学生との交流会

9月6日、京山公民館で中国語講師の劉小妹さんとの交流会に参加しました。

彼女の故郷山東省は、北京の南で岡山から大阪くらいの位置と聞き、スマホの地図を確認しながら話が弾みました。

太行山脈の東側だから山東省であること、方言は発音の第3声（第2声に変化し北京よりもアル化が強い等、親しみやすく解りやすく解説してくれました。果たして自分が外国で、こんな風に岡山を紹介できるのかと感心しました。

後半は、物価が心配で大量の服を中国から持ってきたけど意外と安かった話や、大学院は英語の講義が多く、せつかく日本に来ているのに日本語を使う機会がない留学生が多いこと、中国では第2外国が日本語で根強い人気があること等、四方山話のうちに2時間が過ぎました。

聡明な劉さんと話しているうちに中国の人を身近に感じ、中国語講座に復帰したくなりました。今回のような座談会形式で、気軽に留学生と語り合う機会が増えると友好の気持ちや関心が高まって、中国語講座の受講生も増えるのではないのでしょうか。

情勢は厳しいですが、政治に左

右されることなく中国の「大」との友好を続けてきた我々の運動をこれからも大切にしていきたいと思いました。

青木正美

中国百科検定対策講座が Youtube にアップされています。

テーマは中国の地理・民族・宗教（+歴史）

地理、少数民族、新疆ウイグル自治区、退耕還草、チワン族、漢民族、歴史、領土問題と内容盛りだくさん。

秋の夜長のおともにかがでしようか。

youtu.be/lx9JKeKmNuA



百科老師

次回の新聞送作業は
10月1日(木)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

飼林 田内
犬小 真竹